

ハート・プラス通信

身体内部に障害
があります



ハート・プラス
<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>
Copyright © 2007 heart plus mark project. All right reserved.

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2019年8月20日 No.48<夏号>

【配信元】NPO法人 ハート・プラスの会

【住 所】大阪府寝屋川市秦町41番1号市民活動センター内

【連絡先】事務局 E-mail : info@heartplus.org 携帯電話 : 080-4824-9928

【ホームページ】<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

みんなの声

他人事だとは思えない今だからこそ障害種別を超越したの当事者運動の推進を

〓協力会員〓
前田穂花さん(東京都在住)

4年前、同じ地元出身の友人が心臓病を患い、内部障害1級の身体障害者になった。本来なら働き盛りであるアラフォーの彼が、職を失い、合併症の影響で趣味のクルマの運転すらできなくなった。

かつて、私が知る休日の彼は、私の実家マンションの上の階に住む(私と同じ)車椅子ユーザーの女の子の外泊ボランティアに勤しむ。優しいお兄ちゃんだった。

ラグビー強豪校出身の、肩幅の広い強靱な姿しか印象にない私には、重い病気を経験した彼が、今後は障害のためにこれまでも通りの生活が送れそうにない現実が本当にショックだった。

成人式直後の「青天の霹靂」

二十一歳を迎える年の早春、突然の病で私は重篤な容態に陥った。

後遺症で常時車椅子が必要となった私自身の記憶の奥の、どうしようもなく投げやりだった当時の気持ちや脳裏に蘇った。障害を負う傷みがそれなりに理解できるからこそ「いたいばい彼になんて声をかければいいんだろう」と私は困惑した。

しかし、東京都下の拙宅に転居後、私は重い内部障害を負う彼がツイッターを活用し、日々ハート・プラスマークやヘルプマークの推進運動に心を傾けていることを知った。

彼の行動と勇氣を知って、私は障害を負った「可哀想な」自分、という部分にのみフォーカスし続けて来た自身の心の視野の狭さを恥じると同時に、プロの物書きを標榜している私だからこそ、世の中に希求でき得るテーマも絶対あるだろうと考える始めた。

そして、今般「まずは協力会員から」というコンセプト

のもと、ハート・プラスの会に入会させて戴こうと決意した。

永らく不況が続く、人々の心も荒みがちな中であって、ともすれば「生産性」の有無だけが、そのまま生命の軽重を押し量る判断材料になつてしまいかねないことは、残念ながら現代の日本の厳しい現実だといえるだろう。

それらの「闇」が決して他人事ではないからこそ、私たち障害当事者が、各々の障害種別を超越して声を挙げ続ける活動が、今ほど重要な時代はないともいえるだろう。

その一環として、ハートプラスマークに関わる種々の活動がなされるのだと、そう私は捉えている。ハートプラスマークの精神を知らしめ普及させる運動が、障害者のみならず、様々なマイノリティを巻き込んでいくならば、さらには健常者含むマジョリティ、この社会の全ての心ある人々をも巻き込んだ一大ムーブメントとなつたらば、どんなに人々の心の棘は和らぐのか：秘められた可能性に期待する私がいる。



前田穂花さんは執筆活動のかたわら、ブログを発信されています。ぜひご覧下さい

<http://www.honoka-itsumademo-onna.tokyo.jp/>



前田穂花さん

在が、この生きづらさが充満する閉塞しがちな現代社会に、風穴を開ける一縷とされたい。なればどんなにか素晴らしいだろう。(まえだほのか)

H 電鉄 人事部

渡部安世さん

ミニ交流会に参加して

先日の交流会に参加させていただきました。渡部と申します。

電鉄会社に勤務しており、「接遇研修の不足点の調査」を行っていきまして、各障害者団体にご連絡させていただいたところ、徳永事務局長様から、ミニ交流会(大阪)にお誘いいただきました。厚かましくもお邪魔させていただきました。躊躇(とまど)いたしましたのは、私自身が聴覚障害2級(後天性感音性難聴)で、口話(こうわ)はできるのですが、手話(てわ)または筆談(ひだん)、音声認識アプリ(おんせいしんしきアプリ)を使っての会話(かいわ)になりまして、お手数をお掛けすることです。

お伝えしたところ、快くお受けいただき、また横浜から参加された男性が手話通訳(てわつうやく)をしてくださいまして、非常に多くのことを学ばせていただきました。皆さんから直接お話を聞くことで、ハート・プラスマーク(heart plus mark)や優先座席(ゆうけんざせき)がどれほど重要なことを知ることができました。



渡部安世さん

バリアフリー関係に興味を持っていただき、各種のマークも把握していただき、ありがとうございました。ハート・プラスマーク(heart plus mark)と、ヘルプマーク(heart plus mark)を混同(まじりあ)したままお話しする始末(はじまつ)でしたが、皆さん怒(おこ)ることも論(ろん)すこともなく、会話(かいわ)の中で気付くまで待つ(まち)てくださるなど、本当に心の温(ぬ)かい方々(かたがた)でした。私の立場(たてま)でどこまで出来るか分かりませんが、直接話(まじりあ)を伺(うかが)うこと(こと)が何(なに)よりも効果(こうか)があると思(おも)っています。関係者(かんけいしや)と繋(つな)いでいければと思(おも)っています。

今回の機会(きかい)をいただきまして、ありがとうございます。また情報交換(じょうほうこうかん)させていただいた(ただいた)だけ(ただ)です(です)。お(お)真面目(まじめ)な話(わ)の中(なか)でも(でも)、笑い(わらい)が(が)あ(あ)った(った)り(り)と(と)本(ほん)当(とう)に(に)和(わ)や(や)かな(かな)な(な)会(かい)で(で)した(した)。

= 正会員・協力会員の皆様へ

令和元年度 会費納入のお願い=

平素は当会へのご支援・ご協力をいただき誠に有難うございます。さて、9月は当会の年度末となっており9月から令和元年度がはじまることから年会費の納入をお願い致します
年会費 1,000円 (令和元年9月1日～8月31日分)

郵便振替口座

ゆうちょ銀行 00980-9-310414

他金融機関からの振込口座番号

○九九(ゼロキュウキュウ)店(099) 当座 0310414

トクヒ) ハートプラスノカイ



ちょっと聞いて

ペースメーカー装着初心者の誤解について

先日ペースメーカー（ICDを除く）を装着した方が怖くて外出出来ないというお話しを聞きまして。確かに世の中には各種の電子機器が設置されて大変便利になってきていますがペースメーカーを装着された方には恐怖で外出できないというのです。

外出が怖くて出来ない

それは、それらの電子機器から電磁波が放出され、その電磁波がペースメーカーの設定をリセットしてしまい、本来の働きが出来なくなってしまうから命に係わるので恐怖で外出がかけられない。

外で電磁波を受けるとペースメーカーが誤動作をおこし心停止してしまふと誤解していらつしやいました。

これはペースメーカーの働きがどのような物かを理解されていないのか。

元来ペースメーカーの働きは心臓の動きを補助するものです。

例えばペースメーカーは不整脈が出ている場合本来の心臓の鼓動に併せてタイミングを合わせるように電気信号を送り出して正常な鼓動にさせてくれるものです。

簡単な問題です

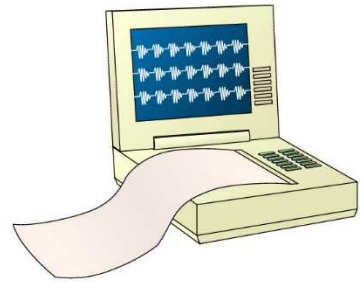
ここで問題です。

もしペースメーカーの働きが止まった場合どのようなことが起きるでしょうか？

- ① 直ちに心臓が停止して命を落とす。
- ② 血液が回らなくなり気を失う。
- ③ ペースメーカーを装着する前の症状に戻る。



正解は③です。



ペースメーカーを長年装着している方が自分のペースメーカーはこれから階段や坂を登ろうとすると自動的にレートが変化して心拍数が上昇し、楽に坂や階段を登ることが出来たのです。

ところが最近どうも息切れがして疲れやすくと感じるようになった。

それで主治医の所に行つてペースメーカーをチェックしてもらおうと案の設定がリセットされてしまった。

原因は不明で多分どこかで電磁波の影響でも受けたのでしよう。

実はそんなに心配するほどの事は無いのです。

ペースメーカーを装着したばかりの方は誤解をして「ペースメーカーが心臓を動かしている、これが止まると絶命する。」

だから、ペースメーカーに影響が出るような機器があるところには出て行きたくない、出て行けない。」と思っている方、気にしないで気晴らしにどンドン外出して下さい。

ご自宅に引きこもっていないで自分のお仕事や趣味を楽しんで下さい。

ただし、ご自分で不調だと感じたなら早めに主治医の所に検査を受けるようにしましょう。

記 徳永周三

ご注意 ICDとペースメーカーは別物です。胸に機械を装着しているものが全てペースメーカーではありません。



(公益法人)日本オストミー協会

50周年記念全国大会に参加して

岩井伸文さん

平成31年度全国大会は、6月8日(土)から6月9日(日)にかけて、東京都渋谷区代々木の(国立オリンピック記念青少年総合センター)で(50周年記念全国大会)として開催されました。NPO法人「ハート・プラスの会」では、パネル展示で参加させて頂きました。

当会からは、石川氏、岩井の二名が参加し、非会員ですが毎回ミニ交流会に参加して情報を聞かせて頂いている千葉県の方縁さんにお手伝いをして頂きました。



オストミー全国大会の様子



パネル展の様子

パネル展示会場では、リーフレット・チラシ・ハートプラスマークカード・ポスター等を配布しました。全国から集まられた多数のオストメイトの方々に、展示物を見て頂き、当事者としての「ハートプラスマーク」の必要性や重要性を認識して頂けたと思います。これからの課題として、内臓障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える「ハート・プラスの会」の活動に重点を置きたいです。来年の第32回全国大会は、令和2年6月6日(土)から7日(日)にかけて、北海道札幌市で開催されます。

総会と交流会のお知らせ

第12回通常総会を左記の通り開催致しますのでお知らせ致します。総会終了後交流会を開催しますので会員以外でもどなたでもお気軽にお越し下さい。

尚、正会員の方には別途、総会のご案内、議案書と同時に出欠はがき(委任状・書面表決)を郵送致しますので必ずご確認ご記入の上はがきの返送をお願い致します。



記

日時 令和元年10月22日(祝)

総会 13時30分〜14時50分

交流会 15時〜16時40分

場所 〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る
清水町375番地

京都府立総合社会福祉会館

ハートピア京都

四階第四会議室

京都市営地下鉄

「丸太町」駅下車5番出口

(地下鉄連絡通路にて連結)

